

受検番号	氏名

平成27年度

神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

適性検査Ⅱ

(45分)

——— 注 意 ———

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は問4まであり、1ページから8ページに印刷されています。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きましょう。解答欄の外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答を線で囲む問題は、次の〔例〕のように、線で囲みましょう。

〔例〕

みかん

- 5 字数の指定のある問題は、指定された字数や条件を守り、わかりやすく、ていねいな文字で書きましょう。次の〔例〕のように、横書きで、最初のマスから書き始め、文字や数字は1マスに1字ずつ書き、文の終わりには句点〔。〕を書きます。句読点〔。、〕やかっこなども1字に数え、1マスに1字ずつ書きます。

〔例〕

1	2	月	の	詩	の	テ	ー	マ	は	
,		「	冬	の	朝	」	だ	っ	た	。

- 6 「やめ」の合図があったら、途中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問1

たかしさんは、図書室で〔資料〕を読んで、読書について考え、調べたところ、〔グラフ〕を見つけました。〔資料〕を読み、〔グラフ〕を見て、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

〔資料〕

テレビのドラマは、登場人物がどういう顔をしているか、その人がどういう声でしゃべるか、背景になっているのはどういうところか、すべて見せてくれます。視聴者が、どういう気持ちになればいいのか、悲しい音楽やうれしい音楽まで付けてくれます。

これは、ある意味では楽です。でも、楽だというのはおそろしいことでもあります。

わたしは、この間、転んで肩の骨を痛めました。固定していたのは、さほど長い間でもないのですが、なかなか、元のように腕が動きません。リハビリの先生によれば、使わないでいると、筋肉が動かし方を忘れてしまうそうです。

文字で書かれた物語を読む時、人は、その情景や登場人物を自然に頭の中でこしらえ、動かしています。そこに、本を読む喜びがあります。□□□□、この「心の筋肉」を使わないでいると、しだいに動かすのが面倒になってくるかも知れません。文字ばかりの本を読むのが、おっくうになるかもしれない。それは、おそろしいし、何よりもったいないことです。テレビやパソコンの注1)普及した現代です。本に慣れるというのが、われわれの世代が考える以上に大事なことなのかも知れません。

こう書いても、わたしはテレビや映画を否定しているのではありません。表現の方法が違う、ということです。だからこそ作ることのできた注2)傑作が、数多くあります。

つまり、どちらにも心が向かうというのが、本当だと思います。(中略)

ものの見方ということを考えて、「裏から読んでも」という視点に気づかない人は、多分、百年たっても気づかない。ところが、われわれは本を読むことができる。それによって、他の人の目や耳を持つことができます。

さらに大事なことがあります。われわれは、それによって、ただ一度、そこにしか通用しない豆知識を得るのではありません。ゆっくりとでも確実に、「心の筋力」がつくのです。自分のものの見方を広げることができるのです。

一度しかない人生です。会って話すことのできる友だち、先生の数は、どうしても限られます。それが、本さえ開けば、注3)古今東西の色々な人々の声に耳を傾けられる。すばらしいことですね。

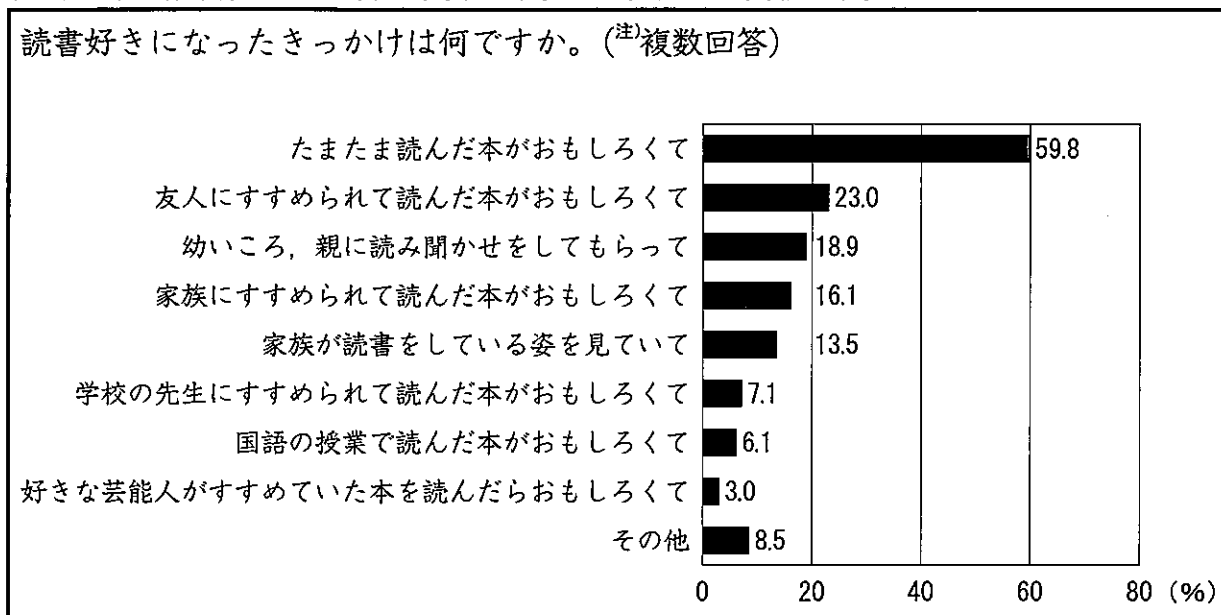
(北村薫「裏から読んでも——」『みんな本を読んで大きくなった』朝の読書推進協議会編より

※一部表記を改めたところがある。)

注1)普及：広く一般に行きわたること。注2)傑作：できばえが非常にすぐれている作品。

注3)古今東西：昔から今までとすべてのところ。

〔グラフ〕 読書実態と意識に関する調査（中学生・高校生調査）



(財団法人 出版文化産業振興財団『現代人の読書実態調査』より作成)

注)複数回答：回答をいくつ選んでもよいこと。

(1) [資料] 中の に最もあてはまる語句を次の①～⑥から1つ選び、その番号を書きましょう。

① まるで ② さらに ③ せめて ④ しかし ⑤ または ⑥ しかも

(2) [資料] 中の下線部「心の筋力」とは何かを書き、テレビやパソコンの普及した現代において、心の筋力をつけるために、今後どのように読書に取り組もうと思うか、あなたの考えを〔グラフ〕の内容にふれながら、全体で120字以上150字以内で書きましょう。

問2 たけしさんとゆみこさんの学校では、遠足で神奈川県伊勢原市にある大山に行きました。次の(1)、(2)の各問いに答えましょう。

(1) 大山のふもとにあるバス停からしばらく歩くと、「こま参道」という道がありました。〔会話文〕、〔資料1〕を読み、こま参道にあるこまの絵がかかれたタイルの枚数は全部で何枚か、書きましょう。

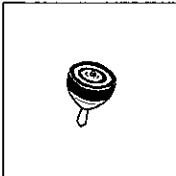
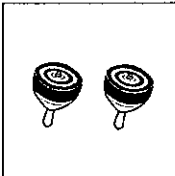
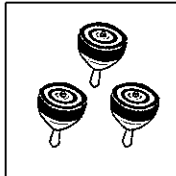

〔会話文〕

たけし 「こま参道は坂になっていて、石段を上がっていくのは大変でした。」
 ゆみこ 「石段の途中には、何か所か^{おど}り場がありました。」
 たけし 「数えてみたら、おどり場は全部で27か所ありました。それぞれのおどり場には、〔資料1〕のようなこまの絵がかかれたタイルがありました。」
 ゆみこ 「タイルの種類は、全部でア～エの4種類でした。」
 たけし 「ふもとから数えて、1番目のおどり場にはア、2番目にはイ、3番目にはウ、10番目にはエのタイルがそれぞれ1枚ありました。」
 ゆみこ 「ア～エのタイルを何枚か組み合わせるとおどり場の順番を表す数になるようにしていましたね。例えば18番目のおどり場では、イが1枚、ウが2枚、エが1枚の合計4枚のタイルを組み合わせていました。」
 たけし 「また、どのおどり場でも、最も少ない枚数のタイルの組み合わせで、その順番を表す数にしていました。」


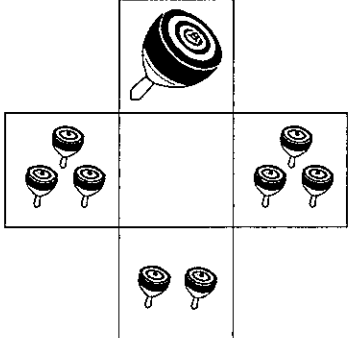
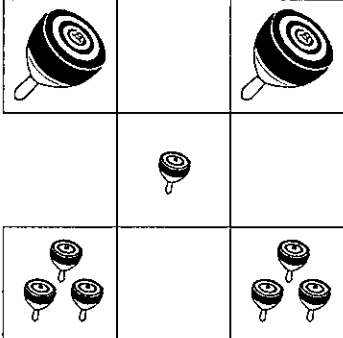
^{おど}り場：石段の途中に設けられた広くて平らな場所。

〔資料1〕 こまの絵がかかれたタイルに関する説明

こまの絵がかかれたタイルの種類

			
ア	イ	ウ	エ

こまの絵がかかれたタイルの組み合わせとおどり場の順番の例

		
4番目	18番目	27番目

※ おどり場の順番は、ふもとから数えたものを示しています。
 ※ こまの絵がかかれたタイル1枚の大きさは、すべて同じです。

(2) たけしさんの学級では、神奈川県にある主な山について調べて班ごとに発表することになりました。たけしさんは、神奈川県にある主な山の高さを〔表〕にまとめ、それらの山の高さを比べられる棒グラフを紙テープを用いて作成しようと考えました。〔表〕を見て、〔資料2〕を読み、棒グラフを作成するのに必要な紙テープを合計した長さは何cmか、書きましょう。

〔表〕

神奈川県にある主な山の高さ (m)			
山の名前	山の高さ	山の名前	山の高さ
とうのだけ 塔ノ岳	1491	ひるがたけ 蛭ヶ岳	1673
たんざわさん 丹沢山	1567	おおやま 大山	1252
おおむらやま 大室山	1587	きんときざん 金時山	1212

(国土地理院ホームページ「日本の主な山岳標高」より作成)

〔資料2〕 棒グラフの作成のしかた

- グラフは、1辺の長さが5mmの方眼がかかっている紙を使います。
- グラフの横のじくは山の名前、縦のじくは山の高さとし、0mから均等に方眼1マスあたり10mとします。
- それぞれの山について、〔表〕の山の高さ(m)の1の位を四捨五入した数で必要な紙テープの長さを切り取ります。
- 切り取った1本の紙テープを、方眼にはりつけて棒グラフを表します。

問3

すみれさんとあきおさんは、保健委員会が行った、食生活を考えるためのアンケートの結果を見ながら朝食について先生と話しています。〔会話文〕はその内容です。〔会話文〕を読み、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

〔会話文〕

すみれ 「アンケートでは、朝食をほぼ毎日食べている人、1週間に2日～3日食べないことがある人、1週間に4日～5日食べないことがある人、ほとんど毎日食べない人の4つに分け、それぞれの人数を調べました。」

あきお 「朝食は、1日の始まりの食事なので、だれもが食べていると思っていましたが、食べない人もいるのですね。」

すみれ 「アンケートの結果を見ると、全児童800人のうち、672人がほぼ毎日食べている、と答えていますが、朝食を食べないことがある人もいます。」

あきお 「1週間に4日～5日食べないことがある人は、1週間に2日～3日食べないことがある人よりも40人少ないので、それほど多くないように見えます。しかし、ほとんど毎日食べない人と1週間に4日～5日食べないことがある人を合わせると、1週間に2日～3日食べないことがある人との差は16人に縮まります。」

すみれ 「ほとんど毎日食べない人と1週間に4日～5日食べないことがある人を合わせると、全児童の7%になるのですね。」

先生 「食事をする時、食事から取り入れたさまざまな栄養素が、血管を通過して体じゅうに届けられます。脳の活動を活発にする栄養素は、取り入れてから約12時間しか体にたくわえられないので、夕食をしっかりと食べていても、朝には栄養素が不足した状態になっています。また、夜ふかしをしないようにしたり、おやつや夜食を食べ過ぎないようにして、1日の生活リズムをつくるのが大切です。」

すみれ 「すべての栄養素をちょうどよい割合にふくんでいる食品はないので、いろいろな食品を上手に組み合わせて食べる必要があります。そして、朝食をしっかりと食べることによって、エネルギーを得て、学習や活動を行うことができます。」

あきお 「わたしは、朝は学校に出かける準備があり、あまり食事に時間がかけられないので、朝食は果物だけの日もありますが、毎日食べています。」

先生 「朝は、学校や仕事に出かける準備があり、あまり食事に時間をかけられないかもしれませんが、朝食は、食べるだけではなく、栄養素をバランスよく取れるように考えたこんだてにすることが大切です。朝食を食べることによって、食べ物を消化する器官が動き始め、ねている間に低下した体温を上げ、1日の活動の準備を整えることができます。」

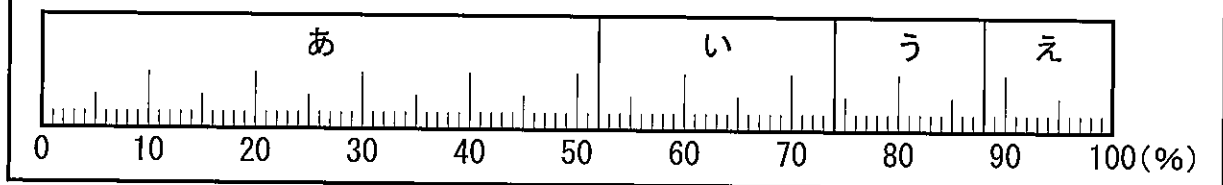
(1) [会話文] の内容にあてはまらないものを、次の①～⑤から1つ選び、その番号を書きましょう。

- ① 朝目覚めた時には、夕食を食べてから長い時間がたっているが、朝食を食べることで頭も体も目覚めさせ、脳の活動を活発にすることができる。
- ② 朝食をしっかり食べることは、1日の活動の準備を整える上で大切なことである。
- ③ 朝食をしっかり食べると、午前中の学習に取り組みやすくなる。
- ④ 朝食を用意するときは、栄養素をバランスよく取れるこんだてを工夫することが大切である。
- ⑤ 朝食のこんだてに果物を取り入れると、すべての栄養素を必ずちょうどよい割合に取ることができる。

(2) すみれさんは、アンケートの結果を帯グラフにまとめることにしました。[答えのかき方] に従って、解答欄の帯グラフに表しましょう。

[答えのかき方]

- 朝食をほぼ毎日食べている人を「あ」、1週間に2日～3日食べないことがある人を「い」、1週間に4日～5日食べないことがある人を「う」、ほとんど毎日食べない人を「え」として、全児童に対するそれぞれの割合(%)を求めます。
- 帯グラフは、割合に従って線で区切り、「あ」～「え」を、割合の多い順に左から記入します。



問4

あやかさんは、住んでいる町にある駅の表示や電車の運行について調べています。次の(1)、(2)の各問いに答えましょう。

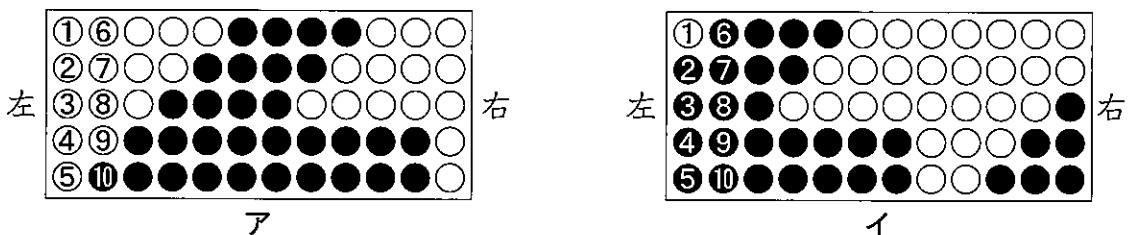
(1) あやかさんは、駅にあった文字が流れて見えるように表示される電光けい示板に興味をもち、そのことについて調べています。〔資料1〕,〔資料2〕を読み,〔資料2〕の電光けい示板の発光ダイオード①~⑩のうち,〔資料2〕のアが最初に表示されてから,20秒後に点灯している発光ダイオードはどれか,あてはまるものを解答欄の中からすべて選び,それぞれ線で囲みましょう。

〔資料1〕 駅で見た電光けい示板に関する説明

- ・ 電光けい示板には,発光ダイオードが規則正しく並んでいます。
- ・ 電光けい示板のいくつかの発光ダイオードを点灯させることで,文字や図形を表示させることができます。



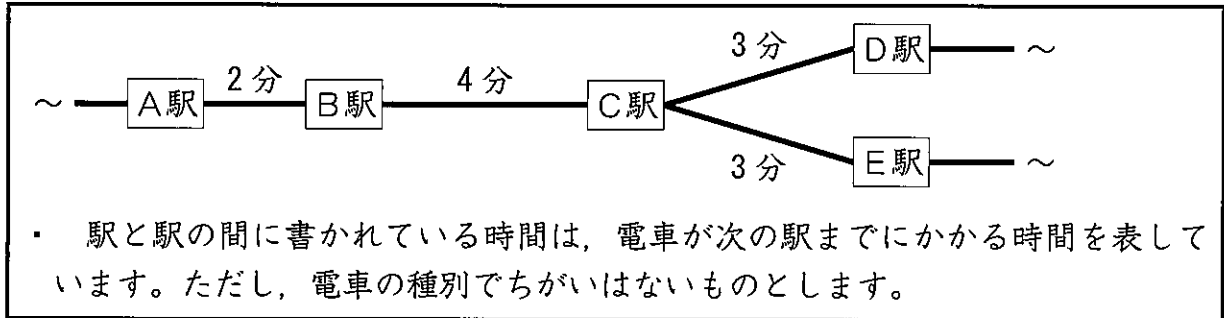
〔資料2〕 電光けい示板に表示された図形が流れて見えるしくみ



- ・ とおりあう発光ダイオードどうして時間を少しずつずらしながら点めつさせると,文字や図形が流れて見えるようになります。
- ・ 縦5個,横12個の発光ダイオードを並べてある電光けい示板があります。「●」は点灯している発光ダイオード,「○」は点灯していない発光ダイオードを表しています。
- ・ この電光けい示板に表示されたアの図形が,1秒ごとに発光ダイオード4個分右から左へ移動して見えるように発光ダイオードが点めつするものとしします。
- ・ イは,アが最初に表示されてから1秒後の電光けい示板の状態を示しています。この電光けい示板の左側2列にある10個の発光ダイオード①~⑩のうち,例えば「②」とあるのは,その番号の発光ダイオードが点灯していることを表しています。

(2) あやかさんは、電車の路線や運行についてまとめました。〔資料3〕,〔資料4〕を読み,〔資料4〕の時刻表2の「ア」,時刻表5の「イ」の電車の種別と発車時刻は13時何分か,それぞれ書きましょう。ただし,解答欄の「各駅停車」,「急行」,「特急」の中から1つを選んで線で囲み,時刻を数で書きましょう。

〔資料3〕 路線図



〔資料4〕 駅の時刻表と電車の運行に関する説明

時刻表1		時刻表2		時刻表3		時刻表4			時刻表5	
時	分	時	分	時	分	時	分		時	分
13	49	13	ア 41	13	34	13	42 45 46		13	イ

・ 時刻表1～5は、A駅～E駅のいずれかの時刻表です。

・ 各時刻表は、13時30分～14時の間に駅を発車する時刻を表しています。

・ 時刻表1では、13時49分に発車する電車があることを表しています。

・ 13時30分～14時の間に、A駅側からC駅へと向かう電車は3本です。

・ 電車の種別は、各駅停車、急行、特急の3つです。各駅停車は、終点まですべての駅に停車します。急行と特急は、特定の駅にしか停車しません。

・ A駅～E駅の中で急行の停車駅はB駅、C駅、E駅、特急の停車駅はC駅です。

・ 13時30分～14時の各駅停車、特急はC駅からD駅方面へ、急行はC駅からE駅方面へと向かいます。

・ C駅では、各駅停車の後に特急や急行が到着する場合は、特急や急行をすべて先に発車させた後にその各駅停車は発車します。

・ A駅、B駅、D駅、E駅の各駅では、停車する電車の到着時刻と発車する時刻は同じです。

※問題は、これで終わりです。

適性検査Ⅱ 解答用紙 (平成27年度)

下の欄には
記入しない

受験番号	氏名

問1

(1)

問1
(1)

(2) ※表紙の「注意」の5をよく読んで書きましょう。

120

150

(2)	

問2

(1)

	枚
--	---

(2)

	cm
--	----

下の欄には
記入しない

問2
(1)

(2)

--

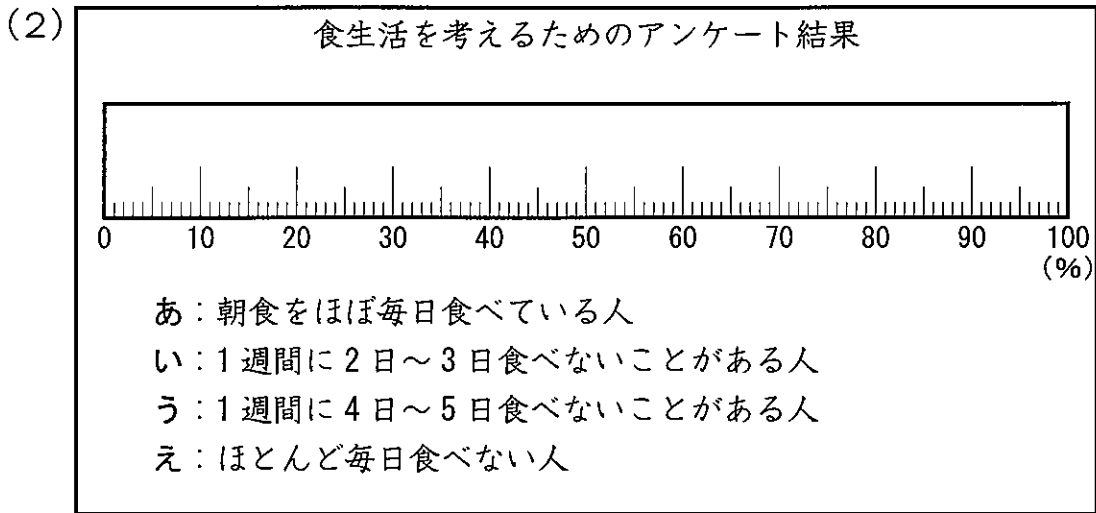
※ 問3 , 問4 の答えを書く欄は、うらにあります。 →

問3

下の欄には
記入しない

問3
(1)

(1)



(2)

--

問 4

下の欄には
記入しない

問 4
(1)

(1)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(2) ※ [] に数を書きましょう。

(2)	

ア	
各駅停車 急行 特急	13時 [] 分

イ	
各駅停車 急行 特急	13時 [] 分

--